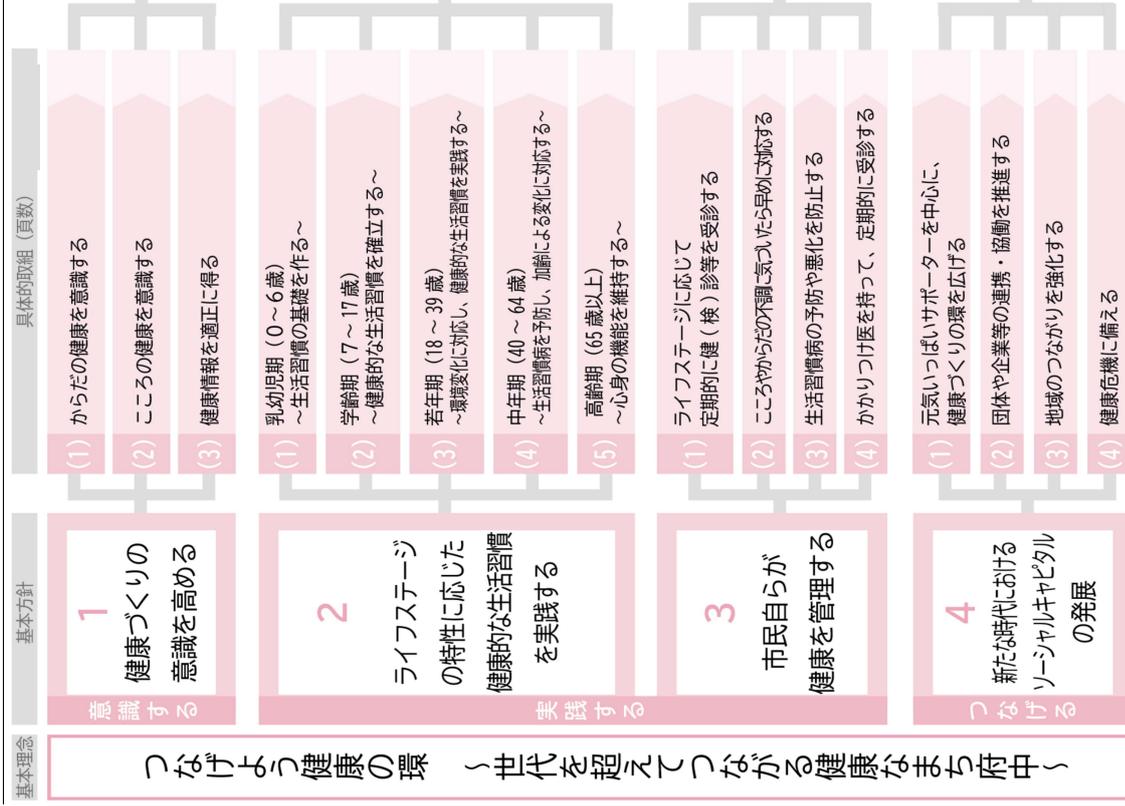


1 (1) 第3次府中市保健計画【令和5年度 関連事業】



【考察】

8～9割の事業が、計画通りまたは概ね計画通り実施できている。中止や事業廃止となつた事業も見受けられたが、1割未満であり、理由としては、類似事業への統合や登録団体の意向等によるものであった。また、基本方針2・3については、妊婦健康診査・妊婦歯科健診・はじめての歯科健診・幼児歯科健診が拡大して実施した事業となっている。各種歯科健診は参加希望者が多いため実施日数や医師の配置を増加したり、妊婦健診では経済的負担を軽減するために健診費用の助成回数を増やす等、事業対象者のニーズに合わせて実施していた。

基本方針4については、令和5年度より元気いっぱいサポーターとしての健康づくりの活動が再開した。また、市で養成している自主グループの1つであるノルディックでつながる会と協働し健康応援ウォーキングマップの新規作成などのコロナ禍で停滞していた元気いっぱいサポーターを中心とした地域での健康づくりの活動が再開してきている。

令和5年度関連事業	
25事業	主な事業
1 拡大	0%
2 計画通り	96.0%(24事業) ※新規1事業含む
3 概ね計画通り	0%
4 中止	4.0%(1事業)
5 事業廃止	0%
37事業	主な事業
1 拡大	5.4%(2事業)
2 計画通り	81.1%(30事業)
3 概ね計画通り	5.4%(2事業)
4 中止	2.7%(1事業)
5 事業廃止	5.4%(2事業)
43事業	主な事業
1 拡大	9.3%(4事業)
2 計画通り	88.4%(38事業) ※新規2事業含む
3 概ね計画通り	2.3%(1事業)
4 中止	0%
5 事業廃止	0%
19事業	主な事業
1 拡大	0%
2 計画通り	89.5%(17事業)
3 概ね計画通り	5.3%(1事業)
4 中止	5.3%(1事業)
5 事業廃止	0%

1 (2) 第3次府中市保健計画【令和5年度 市民や関係機関との連携】

市民や関係機関との連携 ※委託先は除く

基本理念

つなげよう健康の環 ～世代を超えてつながる健康なまち府中～

基本方針

1 意識する
健康づくりの意識を高める

2 実践する
ライフステージの特性に応じた健康的な生活習慣を実践する

3 市民自らが健康を管理する

4 つなげる
新たな時代におけるソーシャルキャピタルの発展

具体的取組 (頁数)

- (1) からだの健康を意識する
- (2) こころの健康を意識する
- (3) 健康情報を適正に得る

- (1) 乳幼児期 (0～6歳) ～生活習慣の基礎を作る～
- (2) 学齢期 (7～17歳) ～健康的な生活習慣を確立する～
- (3) 若年期 (18～39歳) ～環境変化に対応し、健康的な生活習慣を実践する～
- (4) 中年期 (40～64歳) ～生活習慣病を予防し、加齢による変化に対応する～
- (5) 高齢期 (65歳以上) ～心身の機能を維持する～

- (1) ライフステージに応じて定期的に健(検)診等を受診する
- (2) ころやからだの不調に気づいたら早めに対応する
- (3) 生活習慣病の予防や悪化を防止する
- (4) かかりつけ医を持って、定期的を受診する

- (1) 元気いっぱいサポーターを中心に、健康づくりの環を広げる
- (2) 団体や企業等の連携・協働を推進する
- (3) 地域のつながりを強化する
- (4) 健康危機に備える

25事業

あり 14事業

主な連携先

東京都健康長寿医療センター、FC東京、東京都多摩府中保健所、社会福祉協議会、ハローワーク、民生員、病院、計画相談事業所、福祉サービス事業所等

35事業

あり 9事業

主な連携先

医師会、歯科医師会、薬剤師会、元気いっぱいサポーター、ひろめ隊(高齢者介護予防ボランティア)、東京都多摩府中保健所、社会福祉協議会等

43事業

あり 14事業

主な連携先

FC東京、幼稚園、保育園、小・中学校、医師会、歯科医師会、薬剤師会等

19事業

あり 13事業

主な連携先

自治会、スクールコミュニケーション協議会、防災関係機関、府中市市民生活センターブラッツ、元気いっぱいサポーター、社会福祉協議会、介護予防推進センター、市内企業等

取組事例【基本方針1】

連携事業	連携内容
SOSのし方に関する教育(自殺対策)	東京都健康長寿医療センターと連携し、絵本の読み聞かせグループであるりぷりんと川崎が中学校を訪問し心の健康に関連した絵本の読み聞かせを実施。

取組事例【基本方針2】

連携事業	連携内容
健康ウォーキングマップの作成及び更新	元気いっぱいサポーターリーダーで構成されている自主グループ「リアルディックでつながる会」が協働し、健康応援ウォーキングマップを新規作成。
摂食・嚥下機能支援システム	医師会・歯科医師会・薬剤師会や在宅支援に関わる様々な専門家が連携をとり、専門的な指導やリハビリテーションが円滑に受けられるように、嚥下機能検査のできる専門機関へ紹介するシステム。

取組事例【基本方針3】

連携事業	連携内容
各種健康診査	・FC東京と協働し長友都選手を起用したポスターを作成し、協力医療機関に掲示。 ・パンダナーナガンデ佳史扶選手を起用した動画を YouTube や駅前商業施設の大型ビジョンで放映。

取組事例【基本方針4】

連携事業	連携内容
元気いっぱいサポーター事業	・社会福祉協議会・介護予防推進センターと協働し元気いっぱいサポーターリーダー養成講座を開催。 ・株式会社サウンドトラックと協働し元気いっぱいサポーターリーダー会を開催。

【考察】

元気いっぱいサポート事業や総合防災訓練など、市民や関係機関との連携により、各機関や企業の勤務者・利用者等である市民へ健康に関する情報を周知できると考えられるため、今後も引き続き関係機関と連携する方法や手段を検討していく。